ご使用前に、この説明書を必ずお読みの上正しくお使いください。　保管用

安全にご使用いただくために

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 器具を改造しない。　感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのままで使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠ 注意

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。　感電の原因となります。
- アルカリ系洗剤は使用しない。　強度低下による破損の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。
- ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり正常に動作しない場合があります。
- 同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。

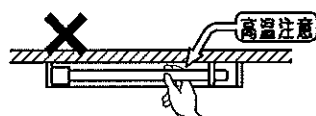
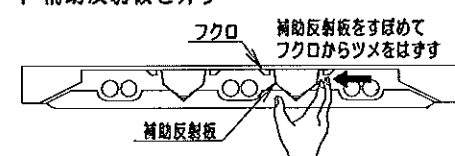
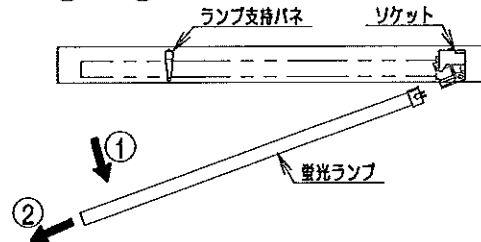
■器具の保証

- 保証について
  この商品の保証期間は1年間です。但し、安定器は3年間です。
  ランプ・グロー点灯管等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 保証書について
  保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 補修用性能部品の保有期間について
  弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。
  補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

■器具のお手入れ

- 器具の清掃について
  ・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
  シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
  変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
- ランプ交換について
  ・本体表示にしたがって、下記の指定されたランプを使用してください。
  （パナソニック製蛍光ランプをご使用ください。）

交換ランプ	32形コンパクト形蛍光灯　FHP32 36形コンパクト形蛍光灯　FPL36 上記2種のランプを混合して使用しないでください。 短寿命の原因となります

⚠注意
・点灯中や消灯後はランプが高温になっておりますのでランプやその周りを素手でさわらないでください。
やけどの原因となります。

お客様相談窓口
お問い合わせは器具に貼り付けてある銘板で品番をご確認の上、下記の支店・営業所までお問い合わせください。

マックスレイ株式会社　http://www.maxray.co.jp

東京　03-3791-2711
大阪　06-6967-0123
名古屋　052-252-9556
福岡　092-431-7824

取扱説明書　（直付け蛍光灯）　保管用

MX80049

このたびは、マックスレイ照明器具をお買い上げいただきまことにありがとうございます。ご使用になる前に必ず本説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

施工者様へお願い

器具の取付け、電気工事は電気設備技術基準に従って、有資格者が行って下さい。一般の方の工事は法律で禁止されています。工事終了後、この説明書は必ずお客様にお渡し下さい。

安全に施工していただくために

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 施工は、取付方法にしたがい確実に行なう。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 器具の取付は器具質量に耐える所に、取扱説明書にしたがい確実に行なう。不備があると落下の原因となります。
- 器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 天井直付専用です。壁面および傾斜天井には取付ない。落下・感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6％）・周波数以外の電源で使用しない。感電・火災の原因となります。
- 断熱施工天井及び断熱天井材（ロックウール天井材など）に施工する場合の配線方法は、「耐熱チューブの取付けかた」（3ページ目）にしたがい確実に行なう。施工に不備があると火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃以外では使用しないでください。ちらつきや短寿命の原因となります。

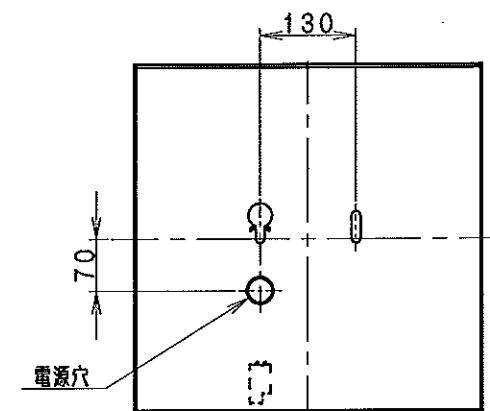
■取付方法

1　取付前の確認

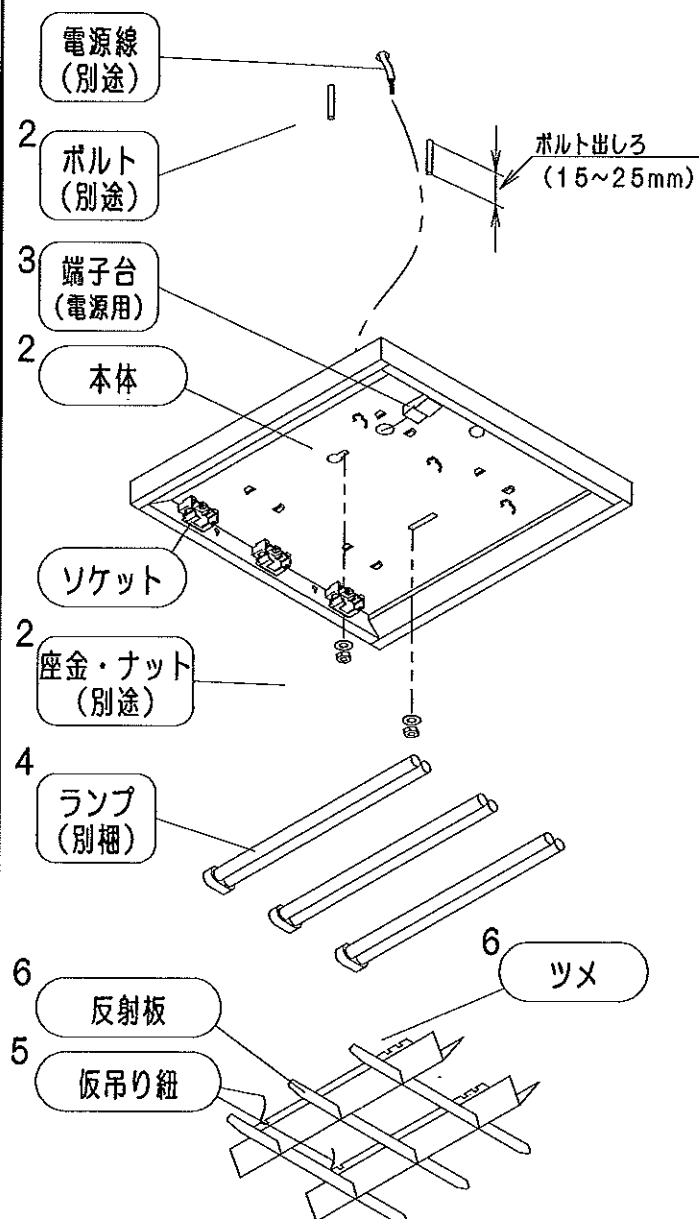
・器具質量に十分に耐える様、ボルト取付部の強度を確保する。
（取付ボルトは、W3/8又はM10を使用する。）
不備があると器具落下の原因となります。

・断熱施工天井に取付する場合、「施工別配線仕様」（3ページ目）どおりの配線ができることを確認する。
不備があると火災・感電の原因となります。

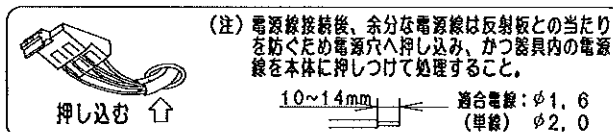
2　本体を取付ボルトに取付ける

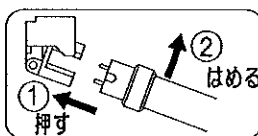
・電源線、アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。
・本体を取付ボルトに確実に取付ける。
　取付ボルト締付推奨トルクは1.5N・mです。
不備があると器具落下の原因となります。

ボルトピッチ・電源穴位置

■取付方法（続き）

⚠警告
施工は、取扱説明書にしたがい確実に行なう。
施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。

3 電源線を端子台に接続する

・電源線・アース線を端子台の差し込み穴の奥まで確実に差し込む。
・D種（第3種）接地工事が必要。
・端子台の容量は20Aです。

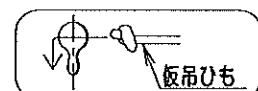
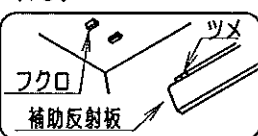
（注）電源線接続後、余分な電源線は反射板との当たりを防ぐため電源穴へ押し込み、かつ器具内の電源線を本体に押しつけて処理すること。
10~14mm　適合電線：φ1.6（単線）φ2.0

4 ランプを確実に取付ける

取付に不備があると落下・火災の原因となります。

5 仮吊ひもの取付

・反射板の仮吊り紐をソケット横のダルマ穴に引っ掛ける。
取付が不完全な場合、落下の原因となります。

6 反射板を取付ける

・反射板をすぼめてツメをフクロにいれる。
取付が不完全な場合、落下の原因となります。

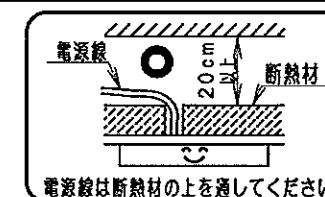
ツメ　フクロ　補助反射板

■施工別配線仕様

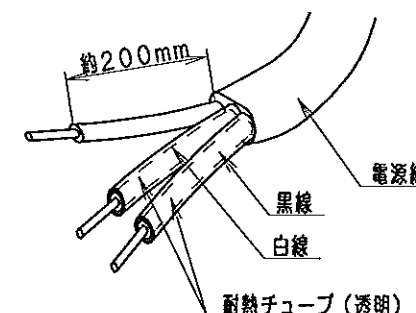
● 断熱施工をしない場合
配線方法に制限はありません。

● 断熱施工天井及び断熱天井材（ロックウール天井材など）に施工する場合
同梱の耐熱チューブを使用し配線を行なってください。
下記の「耐熱チューブの取付けかた」参照
不備がありますと、火災・感電の原因となります。

■耐熱チューブの取付けかた

⚠警告

● 断熱施工天井及び断熱天井材（ロックウール天井材など）に器具を施工する場合、耐熱チューブは下記にしたがい確実に取付ける。
不備がある場合、感電・火災の原因となります。
● 保護チューブを切断しない。火災・感電の恐れがあります。
● 電源送り配線を行う場合は、電源線・送り線ともに取付ける。

1 耐熱チューブの取付

・電源線のシース部を剥く。（約200mm）
・同梱の耐熱チューブ（透明）を電源線（黒・白）に被せる。
注）・根元まできっちりと差し込んでください。
・アース線（赤）への取付けは不要です。

2 分岐点の保護

・分岐点（保護チューブの被っていない箇所）に絶縁テープを巻き付け保護する。
・結線後、電源線を電源穴に押込み、分岐点を天井裏の断熱材の上に出す。

絶縁テープ　分岐点

取説No. NHTMU33565A-T